2P174291-1D

省エネリモコン機能の設定のしかた

本リモコン（ＢＲＣ１Ｃ３）には通常運転の他に次の３つの省エネ機能があります。
設定することで冷やし過ぎ、暖め過ぎを防ぎ、省エネ効果を得ることができます。
お客様のエアコンの設置条件や使用状況に合わせ、お客様とご相談の上、設定してください。
設定後、お客様に実際に操作していただき、各機能の操作方法をご説明ください。
また、この説明書は取扱説明書とともにお客様で保管していただくように依頼してください。

1 設定温度の上下限温度変更機能
・設定温度の上限温度（暖房時）および下限温度（冷房時）を制限することができます。
　不特定の人が操作できる場所にリモコンが設置された場合に、必要以上の温度に変更されることを防ぐことができます。

2 設定温度自動復帰機能
・設定温度を変更しても一定時間後に、変更前の設定温度に自動的に戻すことができます。
　飲食店などで昼のピーク時に設定温度を変更した場合に、ピーク時を過ぎた後の戻し忘れを防ぐことができます。

3 自動停止機能
・一度タイマ時間を設定すると毎回運転開始から一定時間後に運転を停止することができます。
　学校や会議室など使用時間が定まっている場合に、切り忘れを防ぐことができます。

上記機能の設定にはリモコンの現地設定モードを使用します。

手順

①通常モード時に［点検/試運転］ボタンを4秒以上押して「現地設定モード」に入れます。

②［▲温度調節▼］ボタンで希望の「モード番号」を選びます。

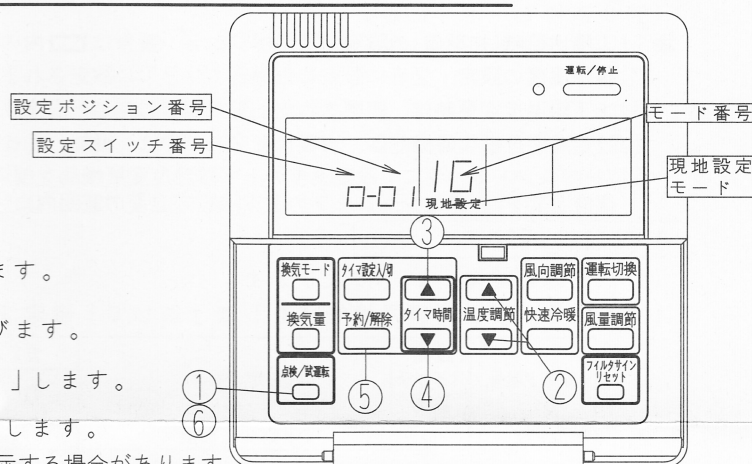
③［▲タイマ時間］上ボタンを押して、「設定スイッチ番号」を選びます。

④［タイマ時間▼］下ボタンを押して、「設定ポジション番号」を選びます。

⑤［予約/解除］ボタンを1回押して、設定変更した内容を「確定」します。

⑥［点検/試運転］ボタンを1秒程度押して、「通常モード」に戻します。

設定ポジション番号　設定スイッチ番号　モード番号　現地設定モード
0-01 1G 現地設定
運転/停止　換気モード　タイマ設定入/切　タイマ時間　温度調節　風向調節　運転切換　換気量　予約/解除　快速冷暖　風量調節　点検/試運転　フィルタサインリセット

注）通常モードに戻す際に、リモコンが初期化の為に液晶部に「88」を表示する場合があります。

1 設定温度の上下限温度変更機能

※暖房時は温風が天井にこもり、足元との温度差がつきやすくなります。
　室内ユニットは室内温度を吸込口で検知しているため、天埋カセット形および天井吊形では、
　足元の温度が設定温度まで暖まらない場合がありますので、本機能の設定時は充分ご注意ください。

本機能の設定のしかた

・暖房時（上限温度の変更のしかた）
（1）暖房運転中に「設定温度」を［▲温度調節▼］ボタンで変更したい上限温度にあわせます。
（2）［換気モード］ボタンと［▲温度調節］ボタンを４秒以上押し続けると、その時の設定温度が上限値として登録されます。
（設定温度が２回点滅すると設定完了です）

・冷房時（下限温度の変更のしかた）
（3）冷房運転中に「設定温度」を［▲温度調節▼］ボタンで変更したい温度にあわせます。
（4）［換気モード］ボタンと［温度調節▼］ボタンを４秒以上押し続けると、その時の設定温度が下限値として登録されます。
（設定温度が２回点滅すると設定完了です）

注）1）上下限温度の初期値は、暖房上限値30℃、冷房下限値20℃です。
　　2）上下限温度変更機能は、冷暖自動モードでは、機能しません。
　　3）Ve-UPコントローラにて設定温度の上下限温度変更機能を使用する場合は、本リモコンの上下限温度変更機能は使用しないでください。

本機能の解除のしかた

（「暖房」「冷房」各運転中に解除してください。）

［▲温度調節］［温度調節▼］ボタンを同時に４秒以上押し続けると、上下限温度変更機能が解除され初期値にもどります。

上下限温度変更の禁止のしかた

・上下限温度設定後、下記の設定により上下限温度の変更を禁止できます。
（1）「現地設定モード」に入ります。
（2）「設定温度上下限変更操作」の「禁止」にして「確定」します。

モード番号	設定スイッチ番号	設定内容	設定ポジション番号 注）	
			０１	０２
１ｂ	４	設定温度上下限変更操作　許可／禁止	許可	禁止

（3）「通常モード」に戻します。
　上下限温度の変更を可能にしたい場合、「設定温度上下限変更操作」を「許可」にして「確定」します。

注）工場出荷時（初期値）の設定：設定ポジション番号は▭内の内容に設定されています。

2 設定温度自動復帰機能

本機能の設定のしかた

(1)「現地設定モード」に入ります。
(2)「設定温度自動復帰機能」を「有」にして「確定」します。

モード番号	設定スイッチ番号	設定内容	設定ポジション番号 注)1	
			01	02
1b	0	設定温度自動復帰機能 無/有	無 →	有

(3)「復帰温度(冷房)」の復帰温度を20~35[℃]から選び、「確定」します。
「復帰温度(暖房)」の復帰温度を15~30[℃]から選び、「確定」します。

モード番号	設定スイッチ番号	設定内容	設定ポジション番号 注)1								
			15	・・・	20	・・・	25	・・・	30	・・・	35
1b	1	復帰温度(冷房)(復帰温度は20~35℃の範囲で任意に設定)			20℃	・・・	25℃	・・・	30℃	・・・	35℃
	2	復帰温度(暖房)(復帰温度は15~30℃の範囲で任意に設定)	15℃	・・・	20℃	・・・	25℃	・・・	30℃		

(4)「復帰時間」を30,60,90[分]から選び、「確定」します。

モード番号	設定スイッチ番号	設定内容	設定ポジション番号 注)1		
			01	02	03
1b	3	復帰時間(復帰温度に戻るまでの時間を設定)	30分	60分	90分

(5)「通常モード」に戻します。

注1)工場出荷時(初期値)の設定:設定ポジション番号は▭内の内容に設定されています。
2)復帰温度の設定:28に設定した場合、28℃に設定されます。
3)上下限温度変更時は、変更された上下限温度に応じた温度範囲内での設定となります。
4)設定温度自動復帰機能は、冷暖自動モードでは、機能しません。
5)Ve-UPコントローラにて設定温度の上下限温度変更機能を使用し、かつ本リモコンの設定温度自動復帰機能を使用する場合は復帰温度をVe-UPコントローラの上下限設定温度の範囲内に設定するようにしてください。

本機能の解除のしかた

(1)「現地設定モード」に入ります。
(2)「設定温度自動復帰機能」を「無」にして「確定」します。

モード番号	設定スイッチ番号	設定内容	設定ポジション番号	
			01	02
1b	0	設定温度自動復帰機能 無/有	無 ←	有

(3)「通常モード」に戻します。

3 自動停止機能

本機能の設定のしかた

(1)「現地設定モード」に入ります。
(2)「自動切タイマ動作」を「許可」にして「確定」します。

モード番号	設定スイッチ番号	設定内容	設定ポジション番号 注)	
			01	02
1b	8	自動切タイマ動作 許可/禁止	許可 ←	禁止

(3)「通常モード」に戻します。
(4) [タイマ設定 入/切] ボタンを1回押して、切タイマ時間を表示させます。
(5) [▲タイマ時間▼] ボタンで自動的に停止させたいタイマ時間にあわせます。
(6) [予約/解除]ボタンを1回押して、設定タイマ時間を「確定」します。
(7)「現地設定モード」に入ります。
(8)「入/切タイマ操作」を「禁止」にして「確定」します。(タイマ時間の変更を禁止することができます。)

モード番号	設定スイッチ番号	設定内容	設定ポジション番号 注)	
			01	02
1b	7	入/切タイマ操作 許可/禁止	許可 →	禁止

(9)「通常モード」に戻します。

注)工場出荷時(初期値)の設定:設定ポジション番号は▭内の内容に設定されています。
設定途中で分からなくなった場合は、工場出荷時(初期値)に戻してから、再度設定してください。

本機能の解除のしかた

(1)「現地設定モード」に入ります。
(2) モード番号「1b」、設定スイッチ「7」の「入/切タイマ操作」を「許可」にして「確定」します。
(3) モード番号「1b」、設定スイッチ「8」の「自動切タイマ動作」を「禁止」にして「確定」します。
(4)「通常モード」に戻します。
(5) [予約/解除]ボタンを1回押して、タイマを解除します。